

はつらつ レポート

NO・171 2019年8月15日号
発行責任者：若林裕子



政治は生活を豊かにするツール

八王子・ 生活者ネットワーク

2名の女性議員をもつ
ローカルパーティー（地域政党）

〒192-0066 東京都八王子市本町 3-4 TRYビル 3階 HP: hachioji.seikatusha.me
TEL: 042-623-8802 FAX: 042-627-4507 mail: hachioji-net@nifty.com

要チェック！どうなるの？

幼児教育・保育の無償化

幼児教育・保育の無償化は、少子高齢化対策の柱のひとつとして待機児解消などと共に打ち出されました。保護者にとつての経済的負担軽減は歓迎されるものですが、併せて、保育の質の低下や待機児童増加、自主保育や自由な教育が画一化されるなどの懸念もあり、地域での子育て・子育てをどう豊かなものにしていくかが問われています。

注目ポイント！

●保育の必要性？

保育の必要性を認めるガイドラインや、その申請について、現在市では検討している最中です。実務的な手引きとしてまとまり次第、周知を急ぎ進めていくことになります。

●保育園給食費について

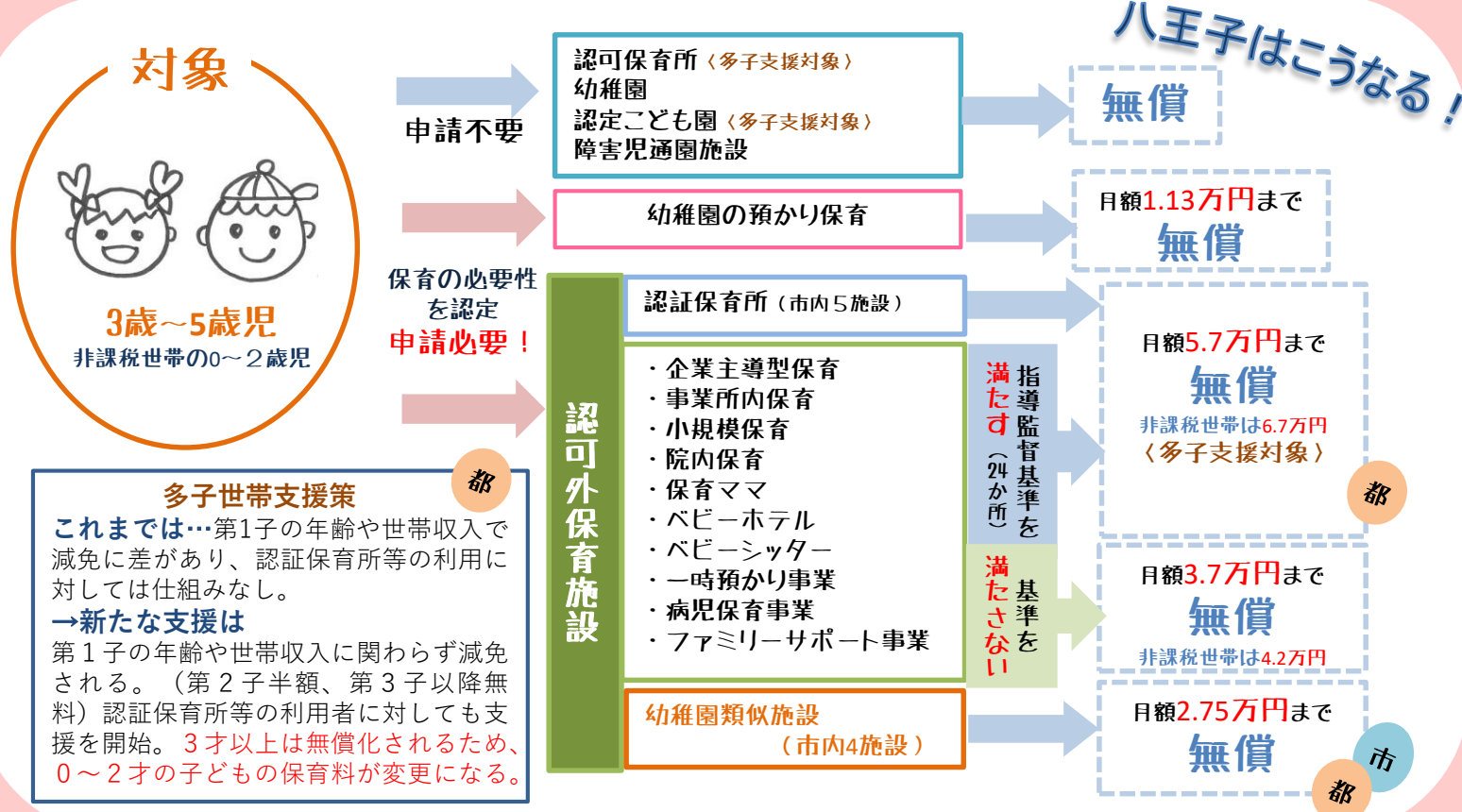
これまでは、副食（おかず）費は保育料に含まれて徴収され、主食（ごはん）費は運営費に加算されており、徴収はありません。

無償化後は、幼稚園等と同様に保護者から給食費を実費徴収することです。

9月市議会にて、市が条例改正を提案し、公立保育園の給食費の金額と徴収事務処理方法を審議する予定です。これはより負担が増えることはないよう、低所得世帯等への支援も合わせて実施される方向です。また、食の安全や食育など質の低下と必要がないようにチェックする必要があります。

★無償化の前にすすめるべきではない課題は山積みです。保育士の働く環境整備や処遇改善についても進めていくべきです。制度からこぼれ落ちる子どもがでないよう、制度設計は慎重にチェックをしていかなければなりません。また、保育の質の確保の観点から、指導監督がより重要となり、市の体制整備についても着目していきます。

複雑な制度となっています。詳細を知りたい方は、お問合せください。



活動トピックス

5月11日
はつらつ
市民集会



5月17日
政治力フェ

6月16日
NO WAR！
八王子ア
クション
に参加



はつらつタイム

きだ あやと話そう

10月10日（木）14：00～16：00
場所：懐風館
八王子市梶田町521-15
めじろ台駅から法政大学方面行きバス「梶田北」下車
めじろ台駅から徒歩15分

前田よし子と話そう

10月10日（木）14：00～16：00
場所：デポー八王子みなみ
八王子市別所1-69-5
※多摩南生活クラブ生協まち八王子南主催



お申し込み
お問い合わせ
八王子・生活者ネットワーク
TEL: 042-623-8802
FAX: 042-627-4507



★特に、八王子・生活者ネットワークでは元神奈川県議会議員、元横浜市長として活躍してきた、若林ともこさんを応援しました。残念ながら議席には届きませんが、市民の声を届く政治の実現に向け、今後も活動が続けま

東京・生活者ネットワークは、全国比例では、立憲民主党の若林ともこさん、岸まきこさん東京選挙区では、山岸一生さん、塩村あやかさんを推薦し応援しました。

参議院選挙 結果報告

八王子市議会報告

HPで動画
見られます！

(2019年6月議会 一般質問)

レポートNO. 171

なるみゆり
から交代



きだ あや

所属:文教経済委員会

香害・マイクロカプセルの害

香料や農薬、殺虫剤など、人工的につくられた化学物質には、発がん性があり、体に影響があると分かっているものもあります。また、香料や農薬などの効果を持続させるためにマイクロカプセル化させているものもあります。マイクロカプセルはプラスチックでできており、破裂させるようにつくられています。破れたカプセルが直径2.5μm以下のPM2.5と同じ大きさになって空気中を漂い、空気を介して体内に入り、健康被害を引き起こします。マイクロカプセルは柔軟剤や化粧品、デオドラント商品などにも使われています。

質、マイクロプラスチックの学習会を開くなど積極的に啓発に取り組みことを要望しました。

農薬・殺虫剤の害について

ネオニコチノイド系農薬に代表される浸透性殺虫剤は、神経に刺激を与える高い殺虫力と効果の持続性が危険視されています。水に溶けやすく、浸透性も高いので、食する葉や実の組織にまで農薬が入ってしまします。長期にわたって無毒化しにくく、環境や生態系への影響が懸念されます。身近な殺虫剤にも同じ成分が使われていますが、その危険性は、商品名を聞いただけでは消費者にはわかりません。

Q:保育園では、虫への対処はどのようにしているか。

A:公設公営保育園では、園児や保育士等の健康に影響が出ないように、原則として殺虫剤は使用していない。民間保育園においても殺虫剤の安全な使用について、指定管理園や民間保育園等の会議等において意見交換を行なっていきたい。

★その他、消費者への見える化の取り組みとして、ネオニコチノイド系殺虫剤等を使わない農法で育てた農産物を本市の独自ブランドとして認証する制度を導入できるか、東京都エコ農産物認証を取得している市内の農業者の情報を市として発信できないか、など提案しました。



★市内には香りで体調を崩す人や、無臭でも化学物質で苦しんでいる人がいることを訴え、小中学校における室内化学物質対応マニュアルの更新、市の職員や教職員へ香りのマナーの研修の実施など提案しました。また、市主催の香りや化学物

2期目
スタート



前田よし子

所属:厚生委員会(委員長)

副読本の内容に問題あり！

- ①放射線副読本
- ②防災教育補助教材「3・11を忘れない」
- ③「オリンピック・パラリンピック学習読本」について

復興庁作成のパンフレット「放射線のホント」と文科省作成の「放射線副読本」再改訂版は、復興庁の「風評払拭リスクコミュニケーション強化戦略」の一環として作成されました。事実を歪めて伝えている両読本の撤回を求める署名運動が広がっており、政府交渉が続いています。こうした中、滋賀県野洲市では、2019年3月議会の一般質問がきっかけとなり、放射線副読本を市教委が回収する事態となりました。

Q:「風評払拭に向けて取り組むべき具体的な施策」として放射線教育とあり、「放射線教育を促進する大前提として、いかなる理由があっても、いじめは決して許されず、事故によって避難したことを理由とするいじめも同様であることを改めて徹底する」と記されている。放射線教育といじめ、どうむすびつくのか。

A:原発事故がもとになっていじめに発展している事例が全国的に行われていることから、指導が必要と考えている。

Q:見直し、撤回が求められている副読本が、学校を通して子どもたちに手渡されているという現状をどうお考えか。学校を通じて子どもたちに渡るものの、重みや責任について。

A:教育長:個人の精神的な価値の形成を目指して行われる学校教育については、ある一定の

見方、考え方で進めるのではなく、事象の事実などもより、真の学術的な事実などもより、伝えていく必要があると考えている。国や都が法令や学習指導要領に基づき作成した副読本は、主体的に自学学習するためのもの。今後児童・生徒が多面的、多角的に学び、幅広い知識と教養が身につくよう、各校が自校の実態に応じ補助教材を有効に活用するよう指導していく。

★原子力災害時の安全指導Ⅱ風評被害(いじめ)防止という、子どもたちに責任転嫁するような問題のすり替えが、教育の現場で堂々と発言されています。文科科学省のいういじめをなくすためにも、学校では、真実・科学・人権に基づく教育が行われるべきです。

精神科診断と服薬について

Q:全庁的に進めている特別支援教育推進の動きの中で、中枢神経への刺激を与える薬を、成長途中である子どもが服用をすることに對してのデメリットという視点が無いことを大変心配している。この観点からの市の考えは？

A:八王子市第4次特別支援教育推進計画の中では、医療機関との連携は取り上げているが、服薬の影響については、主治医が処方している専門的な医療の領域への見解となるため、教育の計画としては取り上げていない。

★発達障害が早期発見早期療育という方向で進んでいくことを危惧しています。病気ではない生まれ持った気質的特性に対して、治療薬として服薬する向精神薬(中枢神経に作用する薬剤の総称)の体への影響という観点を持って、今後も考えていきたい問題です。

都政情報

選択的夫婦別姓の法制化を求める請願 賛成多数で可決！

都議会では、「選択的夫婦別姓の法制化を求める意見書の提出に関する請願」が賛成多数で採択されました。2018年2月に内閣府が公表した世論調査において、夫婦同姓も夫婦別姓も選べる選択的夫婦別姓を導入する法改正に賛成・容認と答えた国民は66.9%となり、反対の29.3%を大きく上回ったことが明らかになっています。夫婦同姓を義務づけている国は、日本だけです。結婚によって改姓するのはほとんどが女性で、婚姻と改姓にまつわるしわ寄せが女性にのしかかります。近年は一人っ子同士のカップルや子連れ結婚、高齢になつてからの結婚や再婚も増加するなど、婚姻をめぐる状況も変化しています。世論の強い要望があり、また、国連女性差別撤廃委員会からの再三にわたる改善勧告や、最高裁で法制化を促す判決文が出ているにもかかわらず、国会の動きが鈍い現状があります。生活者ネットワークは、かねてから選択的夫婦別姓を導入すべきと主張しており、この請願に賛成しました。男女平等の理念に基づく意見書が都議会から出せるよう、働きかけていきます。

♪東京・生活者ネットワークの購読者になりました。年間1,000円(年12回発行)申込みは八王子・生活者ネットワークまで

市議会たんけんたい！

西八王子にあるもつきんバーで奇数月に開催している「ゆるやか政治ナイト」から生まれた企画「八王子市議会たんけん隊」で参加者を募って、市議選から2ヶ月たった議会の様子を探検(傍聴)してきました。傍聴後は市役所内の喫茶店でコーヒを飲みながらおしゃべり。参加者のみなで感想を出しあえたのがとても良かったです。初傍聴の私が驚いたのは、議会中ずっとおしゃべりをしたり、「長(なが)〜よ!」「言いたいだけなんだよ!」なんて大声を上げる議員がいたこと。もちろん、しっかりと仕事をしている議員さんが殆どでしたが、議員さんたちは「選ばれた」人ではなく「託された」人なんだという自覚と

「ゆるやか政治ナイト」共同主催 くぼいなみ

